

## わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和6年度取組実績

## 1 寄附の実績 (R7.3.17 時点 納付額および申込済額)

令和6年度実績 143,963,599 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	13 件	4,482,111 円	
企業・団体	49 件	137,712,377 円	
イベント等	17 件	88,095 円	イベント等での募金
据置き募金箱	一	362,765 円	
募金グッズ	一	1,039,251 円	ぬいぐるみ・ピンバッジセット ぬいぐるみ単品 ピンバッジ トートバッグ LINE スタンプ
その他	1 件	279,000 円	びわ湖マラソン 2024 (チャリティーランナー)
計	80 件	143,963,599 円	(使途) 競技力向上 134,363,599 円 施設整備 8,500,000 円 大会運営 1,100,000 円

## &lt;参考&gt;年度別寄附金額

年度	平成 26 平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	計
件数	80 件	75 件	112 件	57 件	59 件	239 件	174 件	147 件	97 件	80 件	1,120 件
寄附 金額	31,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,714 千円	36,404 千円	35,483 千円	142,194 千円	82,500 千円	143,964 千円	630,431 千円

## 2 企業協賛の実績（R 7. 3. 17 時点 契約済）

令和6年度実績（契約金額） 199,743,102 円 （協賛金 77,000,000 円、物品 122,743,102 円相当）

（参考）

令和5年度実績（契約金額） 132,665,630 円 （協賛金 80,310,000 円、物品 52,355,630 円相当）

令和4年度実績（契約金額） 21,441,000 円 （協賛金 21,100,000 円、物品 341,000 円相当）

カテゴリー	(R6 年度) 企業・団体名	(R6 年度) 企業・団体 数	【参考】 (~R5 年度) 企業・団体数
JAPANGAMES パートナー (協賛金)	(公財) S G H 文化スポーツ振興財団、 日東電工(株)、大和ハウス工業(株)	3	7
オフィシャル スポンサー (協賛金)	日軽パネルシステム(株)、兵神装備(株)、フジノ食品(株)、 JA グループ滋賀 滋賀県農業協同組合中央会、 (公財)平和堂財団	5	5
オフィシャル サポーター (協賛金)	不二電機工業(株)、古河 AS(株)、湖東信用金庫、 (株) 笹川組、日本ソフト開発(株)、長浜信用金庫、 (株) ヨコブリシ、(株) フルヤ金属、 住友電工プリントサーチット(株)、 (株) ビルディング・コンサルタントワイズ、 (株) GSユアサ	11	8
大会協力企業 (協賛金)	MARUGO(株)、積水多賀化工(株)、野村證券(株)大津支店、 ヤマジックス(株)、(株)IHI 回転機械エンジニアリング、 (株)ディーアクト、トラヤ商事(株)、(株)滋賀松風、 共栄工業(株)、(株)Grape Marketing、 JNC ファイバーズ(株)、(株)聖心製作所、 日本中央競馬会栗東トレーニングセンター、 (株)尾賀亀、三井化学(株)、日本体育施設(株)、 たち建設(株)、住友生命保険相互会社滋賀支社、 (株)あいむ、(株)山久、(株)Liam、 日本生命保険相互会社滋賀支社、 リコージャパン(株)滋賀支社、キヤノンマシナリー(株)、 (株)サンセブン、AZUSA SKIN&WELLNESS CLINIC	26	9
オフィシャル サプライヤー (協賛物品)	トヨタモビリティ滋賀(株)、(株)バウハウス、 山甚開発(株)、日本航空(株)、ウインワークス(株)、 (株)平和堂、(株)日本デキシー、(株)城山、日本郵便(株)、 (株)ニイタカ、東レ(株)	11	23

大会協力企業 (協賛物品)	(株)ディーソル、東洋化学(株)、セコム(株)、AINZ(株)、 (株)ユタカファーマシー	5	7
計		61 協賛金：45 協賛物品：16	59 協賛金：29 協賛物品：30

### 3 主な取組

#### (1) 個人向け取組（寄附）

##### ① イベント会場等での募金活動の実施

17のイベントにおいて、会場等での募金活動を実施。（R7.3.17 時点）

＜募金活動を行った主なイベント＞

- ・イナズマフード GP (5/27)
- ・陸上リハイイベント (6/15)
- ・フライングディスクリハイイベント (7/6)
- ・親子スポーツフェスタ 2024 (7/15)
- ・いまづてつどうマルシェ (7/20)
- ・ボッチャリハイイベント (7/27)
- ・卓球リハイイベント (8/3)
- ・SAGA2024 国スポ開閉会式 (10/5・15)
- ・SAGA2024 障スポ開閉会式 (10/26・28)
- ・万博ミライ EXPO (11/2)
- ・開催一年前イベント「みんなのスポーツ Festival」(11/16)
- ・競技力強化指定選手認定式 (12/20) 等

イナズマフード GP



カプセルトイ



募金の促進を図るため、引き続き、寄附返礼グッズとして、大会マスコットキャラクターをデザインした缶バッジを寄附返礼グッズとして活用。

また、楽しみながら募金していただけるよう、カプセルトイを活用した募金活動を行った。



缶バッジ

## ② 寄附付商品の販売

大会マスコットキャラクターを活用したぬいぐるみやピンバッジに、公式ポスターをモチーフにしたキャンバストートバッグを新たな募金グッズに加え、事務局による直接販売（事務局執務室、イベント、郵送）および滋賀県職員生活協同組合（県内9店舗）・スポーツショップキムラ（県内3店舗）、トラヤ商事株式会社（県内2店舗）、薬局（県内7店舗）での委託販売を実施した。なお、SAGA2024では県実行員会ブースのほか、大会グッズ販売事業者（株式会社ヨコブリシブース）に販売を委託し、寄附付商品の販売を行った。大会マスコットキャラクターを活用したLINEスタンプの第3弾の販売を新たに実施した。



## ③ 募金箱の設置箇所の拡大

県内の民間スポーツ施設の他、民間企業の営業所等に募金箱設置の協力を依頼し、設置した。

- ・令和6年度（R7.3.17時点）募金箱設置箇所 311箇所  
(令和5年度比：39箇所増)



## ④ スポーツイベント等とのタイアップの実施

「びわ湖マラソン2025」でのチャリティーランナーの募集において参加料の一部（1口500円）を寄附いただいた。

- ・令和6年度 593口 (令和5年度比：35口増)

## ⑤ ふるさと納税ポータルサイト「滋賀応援寄附」による寄附の受入れ

滋賀応援寄附（ふるさと納税）の寄附メニューに位置付け、受入れを行った。

- ・令和6年度（R7.3.17時点）：3,271,000円（11件）

## （2）企業・団体向け取組（寄附・企業協賛）

寄附および企業協賛（令和4年8月より開始）について、次の取組を実施した。

- ・県内経済団体等の会合の場を活用した呼びかけ
- ・個別企業への訪問等による依頼

R7.3.17時点で、70件の企業・団体に依頼

- ・知事の署名およびメッセージ入りの依頼文を計577社（令和6年5月に277社、令和6年9月に300社）に送付

※寄附・企業協賛の依頼と併せて、ポスター掲出、社用車ラッピング、ネックストラップ着用などの広報・啓発への協力依頼も実施

### ＜物品協賛の事例＞

- ・車両、スタッフウェア、ボランティア参加記念品大会オリジナルHOPカード
- ・広告スペース、無線機、AED、デジタルサイネージなど

協賛車両



スタッフウェア



オリジナルHOPカード



### （3）謝意表明および企業協賛特典の実施

寄附および協賛企業に対し、次のとおり謝意表明および特典を実施した。

- ・寄附および協賛計 10 者に対する感謝状贈呈式（7月）を行った。
- ・寄附申込の増加に伴い寄附者名顕彰銘板（10万円以上の寄附が対象）の増設（6月）および追加設置（10月）を行った。
- ※銘板には、信楽製の陶板を使用
- ・企業協賛に係る特典として、両大会ホームページをはじめ広報誌等への企業名やロゴの掲載など、広告を実施した。

寄附者銘板

感謝状贈呈式



新聞広告での協賛企業の掲出



協賛物品のお披露目



#### (4) 寄附・企業協賛制度についての情報発信

国スポ・障スポの寄附・企業協賛の制度についての認知を広め、個人や企業等による寄附や企業協賛の機運を高めるため、上記（1）（2）の取組とともに、次のような取組により情報発信を行った。

- ・寄附、企業協賛に係る感謝状贈呈などを大会HP・SNS等に掲載

- ・大会広報誌「シャイン!!」第7号（令和6年9月発行）  
および第8号（令和7年3月発行）において募金グッズの紹介

（発行数）新聞折込（主要6紙）：各号 約29万部

施設等配下：各号 約9万部

- ・大会広報用リーフレットを活用した情報発信

内容：「グッズを買って、わたSHIGA 輝く国スポ・障  
スポを応援しよう！」

「寄附と企業協賛のお願い」

媒体：紙面（10,000部作成し、新聞折り込み、県立施設等に設置。）



#### (5) 寄附金・協賛金等を活用した事業展開

- ① 寄附金について、次の事業に充当した。

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト：充当額 200万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約40名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

- ・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 100万円

全国障害者スポーツ大会等の全国大会において優秀な成績を収めるとともに、恒常的な競技力向上体制の整備、充実、発展を目的として、各競技団体への支援を実施

- ・競技団体育成・強化対策事業（少年選手強化）：充当額 9,809.1万円

わたSHIGA 輝く国スポ大会時に少年種別の主力となる年代の選手の育成・強化を目的として、各競技団体への支援を実施

- ・スポーツ施設整備事業：充当額 2,810万円

国民スポーツ大会の競技会場・練習会場となる施設について、改修・修繕の実施、必要となる備品を購入

【修繕・改修】関西みらいローイングセンター、県立柳が崎ヨットハーバー

【備品購入】県立栗東体育館、OSPホッケースタジアム

② 協賛金について、次の事業を実施した。

・広報誌「シャイン!!」第7号・8号および

こども版シャイン!!創刊号・第2号の発行経費： 2,019 万円



## わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和7年度取組計画（案）

イベント募金、企業・団体からの寄附等の募集や、企業協賛特典の実施に取り組む。また、広報活動と連携した取組を行い、大会の周知や機運醸成にもつなげる。

### 1 個人向け取組（寄附）

各種イベントにおける大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

#### （1）寄附付商品販売の促進

大会マスコットキャラクターを用いた募金グッズについて、現在販売しているぬいぐるみ、ピンバッジ、キャンバストートバッグの他、タオルハンカチを作成し、寄附付商品の拡充を図る。

販売に当たっては、引き続き、事務局による直接販売を行うとともに、委託販売を実施する。また、イベントなどへの出張販売も実施することにより、大会に向けた機運醸成につなげていく。

#### 募金グッズ



#### （2）イベント会場等での募金活動の実施

イベントでのブース出展等や着ぐるみの出役に合わせ、寄附返礼グッズやカプセルトイ等を活用した募金活動を実施する。

#### 募金活動



#### （3）ふるさと納税ポータルサイトを利用した寄附の受け入れ

気軽に寄附できる手法として、引き続き「滋賀応援寄附」のメニューに位置付け、ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附の受け入れを行う。

#### 滋賀応援寄附（県 HP）



## 2 企業向け取組（寄附・企業協賛）

企業・団体から御支援をいただけるようホームページ等で引き続き呼びかけを行うとともに、謝意表明や企業協賛の特典を実施する。

依頼にあたっては、両大会の準備状況や寄附・企業協賛のメリット（企業イメージの向上、税制優遇措置など）、活用用途等の説明のほか、県外企業へ向けては、企業版ふるさと納税制度の活用も提案していく。

募集パンフレット



### （1）謝意表明の実施

- ・感謝状贈呈式等の実施。
- ・寄附者銘板による謝意表明。

### （2）協賛特典の実施

- ・企業団体ロゴの掲出など協賛のカテゴリーに応じた協賛特典を実施する。



開閉会式会場内PR看板



競技会場内PR看板



屋外PR看板



開閉会式会場周辺歓迎のぼり



大会ホームページ



大会広報誌



輸送バスのフロン  
トマスク



新聞・テレビ等



総合プログラム・  
ガイドブック

### 3 寄附・企業協賛制度の情報発信

個人や企業・団体を問わず、寄附や企業協賛制度について認知していただき、寄附等の機運を高めるため、引き続き、次のような取組による情報発信を行う。

- ・大会HPでの寄附・企業協賛に係る情報の発信
- ・大会SNS (X、Instagram) による寄附・企業協賛募集の情報発信
- ・企業向け寄附・企業協賛募集パンフレットの配布
- ・大会広報誌における寄附・企業協賛にかかる記事の掲載
- ・感謝状贈呈式に係る報道機関へ資料提供、大会HP・SNS等への掲載

Instagramでの感謝状  
贈呈の情報発信



いいね！: kokaninja\_kokusupo. 他  
2025shiga [伊藤忠商事株式会社様に感謝状を贈呈！]  
伊藤忠商事株式会社様からいただいた「わたSHICA 雄く  
国スポーツ・マスク」への御意匠に対する感謝状の贈呈を行  
いました。いたないた御意匠は選手育成のために活用させて  
いただきます。

### 4 寄附金・協賛金を活用した事業展開

#### (1) 寄附金

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト
- ・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）
- ・競技団体育成・強化対策事業（国スポ選手育成強化）
- ・スポーツ施設整備事業

※修繕：県立栗東体育館、県立長浜ドーム、県立武道館

備品：OSP ホッカースタジアム

- ・希望が丘文化公園施設整備費

#### (2) 協賛金

##### ①テレビ、ラジオ

これまで制作した大会プロモーション映像等を活用し、テレビやラジオのCMを実施する。

## ②新聞等の紙媒体

新聞をはじめとした紙媒体を活用し、広告や特集記事、選手名鑑の作成等を通じて、広く大会の情報を発信する。

## ③広報誌の発行

両大会の情報を多くの方に届けるため、新聞折込を活用するなどして、広報誌「シャイン!!」を発行する。発行にあたっては、スマートフォン（ウェブ）版、音声版、点字版も制作する。（1回発行予定）

また、県内の小学生向けの「こども版シャイン!!」を発行する。（1回発行予定）



## ④大会ホームページ

両大会の概要や実施競技など大会に関する情報を掲載したホームページを運用する。また、開催に向けて、必要な開・閉会式や各競技会場の情報を随時ページ追加するなど対応する。

## ⑤観戦ガイドブックの作成

県外から来県する来場者・関係者等への情報提供および県民へ広く両大会に関する情報を発信し、観戦を促進するための観戦ガイドブックを作成する。

## ⑥ポスター、リーフレットによる啓発

これまで制作した両大会の公式ポスターを活用し、県内各所への掲出を進めるとともに、両大会の概要をまとめたリーフレットを刷新し、イベントや大会式典で配布をする。



## ⑦ラッピングを施した路線バスや電車による広告

ラッピングバス：大津・草津エリア、長浜エリア

ラッピング電車：甲賀・東近江・湖東エリア周辺

## ⑧シティドレッシング業務

大会に向けて、県内の様々な場所を装飾し、どこにいても大会に触れられる環境づくりをする。

### ・県内の鉄道駅の装飾

滋賀県内16駅（木ノ本駅、長浜駅、米原駅、彦根駅、能登川駅、近江八幡駅、野洲駅、守山駅、栗東駅、草津駅、石山駅、大津駅、大津京駅、近江今津駅、貴生川駅、甲西駅）、新幹線米原駅での駅装飾、県内全駅（JR、京阪、近江鉄道）でポスター掲出を実施する。

### ・車内広告の掲出（JR）

### ・高速道路SA広告（テーブルステッカー等貼付）

### ・商業施設でのサイネージ放映



## わたSHIGA輝く国スポ・障スポ募金推進要綱改正（案）

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ募金推進要綱を次のとおり改正する。

### 1 改正の概要

「両大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費」および「両大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費」に充てる募金の終期を両大会最終日までとする。

### 2 施行日

令和7年〇月〇日（次回総会の日付とする）

改 正 前	改 正 後
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ募金推進要綱	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ募金推進要綱
第1条～第4条 省略	第1条～第4条 省略
(期間) 第5条 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。 (1)～(2) 省略 (3) 第7条第3号および第4号に掲げる経費のための募金 平成27年8月31日から <del>実行委員会の総会の議決により定める日まで</del>	(期間) 第5条 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。 (1)～(2) 省略 (3) 第7条第3号および第4号に掲げる経費のための募金 平成27年8月31日から <del>両大会最終日まで</del>
第6条～第9条 省略	第6条～第9条 省略

【参考：わたSHIGA輝く国スポ・障スポ募金推進要綱】

(使途)

第7条 滋賀県は、前項の規定により受け入れた寄附金を第5条各号の募金の期間に応じ、次の各号に掲げる経費の財源に充てるものとする。

- (1)～(2) 省略
- (3) 両大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費
- (4) 両大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費

## わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金推進要綱（案）

### （趣旨）

**第1条** この要綱は、令和7年（2025年）の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」と総称する。）を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集（以下「募金」という。）について、必要な事項を定める。

### （推進）

**第2条** 募金は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会（以下「実行委員会」という。）が推進する。

- 2 実行委員会の構成員は、連携協力して募金の推進にあたるものとする。
- 3 実行委員会は、募金を推進するための計画を策定するものとする。
- 4 前項の計画は、進捗状況等を踏まえ、必要に応じ見直すものとする。

### （名称等）

**第3条** 募金は、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金」という名称を用いて行うものとする。

- 2 募金は、前項の名称のほか、必要に応じ愛称を用いて行うことができる。

### （対象）

**第4条** 募金は、滋賀県内外の個人および企業・団体を対象として行うものとする。

### （期間）

**第5条** 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 第7条第1号に掲げる経費のための募金 令和4年8月7日から両大会最終日まで
- (2) 第7条第2号に掲げる経費のための募金 平成29年7月31日から両大会最終日まで
- (3) 第7条第3号および第4号に掲げる経費のための募金 平成27年8月31日から  
両大会最終日まで

### （受入れ）

**第6条** 募金による寄附金は、滋賀県が受け入れ、滋賀県国民スポーツ大会・全国障

害者スポーツ大会運営等基金に積立てるものとする。

(使途)

**第7条** 滋賀県は、前項の規定により受け入れた寄附金を第5条各号の募金の期間に応じ、次の各号に掲げる経費の財源に充てるものとする。

- (1) 両大会運営に要する経費
- (2) 両大会の広報に要する経費
- (3) 両大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費
- (4) 両大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費

(謝意表明)

**第8条** 寄附者に対しては、実行委員会会長が別に定めるところにより、謝意を表明する。

(雑則)

**第9条** この要綱に定めるもののほか、募金の推進に関し必要な事項は、実行委員会会長が定める。

#### **附 則**

この要綱は、平成27年8月31日から施行する。

#### **附 則**

この要綱は、平成29年7月31日から施行する。

#### **附 則**

この要綱は、令和元年5月17日から施行する。

#### **附 則**

この要綱は、令和3年8月3日から施行する。

#### **附 則**

この要綱は、令和4年8月7日から施行する。

#### **附 則**

この要綱は、令和7年○月○日から施行する。